

教育部 教育プログラム概要ST

(言語聴覚士)

	新人（1年目）	2-4年目	5年目以降	10年目以降	15年目以降
到達目標	○社会人の基本 ○基本業務習得	○基本的なセラピストスキルの習得 ○症例発表能力 ○興味のある専門分野を模索	○専門性の習得 ○学会発表能力 ○後輩指導能力 ○メンバーシップの模索	○特定の科（医師）と信頼関係を築けるキーマンとなる ○後輩・チームの育成 ○業務管理補助	○業務管理 ○キーマン育成 ○すべての模範となる人材
習得項目	○社会人の基本 ○病院業務 ○就業規則 ○リスク管理 ○リハ科業務 ○セラピスト業務の基本	○脳血管、認知症肺炎（肺がん）、心臓、腎臓、代謝疾患、外科、消化器疾患、がんリハのスキル習得 ○がんリハ講習受講	○専門分野習得（1-2分野のテーマ確定） ○学会発表（数回） ○基本～専門分野までを後輩に伝達	○特定の科（医師）から信頼される人材となる ○特定疾患の専門性を有する ○特定疾患でリーダー的存在（キーマン）となる ○専門性を生かし後輩育成できる人材となる ○チームを育成できる人材となる ○多職種との連携を円滑にできる人材となる ○院外活動でも力を発揮できる人材となる	
チーム	Aチーム B・Cチームは見学のみのみ（肺炎中心）	2年目 A 3年目 CまたはB 4年目 BまたはC	○専門的に習得したい分野について相談 ○国内留学・外部研修 ○専門性が確立すれば、固定 ○希望があれば、ローテーション		

* Aチーム 脳血管疾患リハ担当 Bチーム 循環器リハ担当 Cチーム 運動器リハ担当 Dチーム がんリハ担当